

1. 科目名 (単位数)	哲学 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1319
2. 授業担当教員	篠 大輔		
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>われわれ人間は、事実的な文脈(「～である」)と価値的な文脈(「～すべき/よい/悪い」)とが交差しながら織り成す毎日の中で生きている。大雑把に言えば、「科学」を志向するさまざまな学問分野は、前者(事実)を明らかにすることを目指しており、他方、後者(価値)をその研究対象に据えているのが、倫理学や本講義で学ぶ哲学である。</p> <p>本講義では、哲学者たちが取り組んできたテーマについて、日常生活とのつながりを意識しながら学んでいく。しかし、もっとも大切なことは、哲学者たちの考えた内容そのものを覚えることではなく、その思考の軌跡を追体験することによって、受講者自身が各自の思考力を鍛えていくことである。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 哲学の基礎的な用語や哲学の歴史について理解する。 2 哲学に関する諸問題に対して、授業で学習した哲学的思索を参考に自らの意見を考えることができる。 3 ディスカッションを通して、人の意見をよく聞き、自分の意見を人に分かりやすく伝えることができる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミニレポート・ワークシート(各回の講義内容に沿った課題を提示する。) 2. 期末レポート 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 山竹伸二『フシギなくらい見えてくる! 本当にわかる哲学』日本実業出版社、2011。</p> <p>【参考書】 田中正人『哲学用語図鑑』プレジデント社、2015。 貫成人『哲学マップ』ちくま新書、2004。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学の基礎的な用語や哲学の歴史について理解しているか。 ・哲学に関する諸問題に対して、授業で学習した哲学的思索を参考に自らの意見を考えることができたか。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点(積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題(中間レポート・ワークシート等) 30% ・期末評価(レポート・試験等) 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は私語を慎み、携帯電話・スマートフォンの電源を切って参加してください。 2. グループワークやディスカッションには積極的に参加しましょう。 3. 授業中に分からなかったことや疑問点は後に残さずに授業後に質問してください。 4. レポートや課題の提出期限を守ってください。 5. 正当な理由のない遅刻、早退、欠席はしないように心掛けてください。 		
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション/ 哲学とはなにか? (第1章) - 哲学の主要な問い -	事前学習	教科書の「はじめに」「第1章」を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第2回	世界とはなにか? (第2章) - 初期ギリシア哲学・ソクラテス -	事前学習	教科書(pp. 38~51)を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第3回	世界とはなにか? (第2章) - プラトン・アリストテレス -	事前学習	教科書(pp. 52~58)を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第4回	世界は認識できるのか? (第3章) - 大陸合理論とイギリス経験論 -	事前学習	教科書(pp. 60~78)を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第5回	世界は認識できるのか? (第3章) - カントの理性批判 -	事前学習	教科書(pp. 79~89)を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。

第6回	世界は認識できるのか？（第3章） - ヘーゲルの精神現象学 -	事前学習	教科書（pp. 90～100）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第7回	真理はあるのか？（第4章） - フッサールの現象学 -	事前学習	教科書（pp. 102～115）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	真理はあるのか？（第4章） - フランクフルト学派・ウィトゲンシュタイン -	事前学習	教科書（pp. 116～138）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	私とはなにか？（第5章） - キルケゴール・ニーチェ -	事前学習	教科書（pp. 140～151）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第10回	私とはなにか？（第5章） - ハイデガー -	事前学習	教科書（pp. 152～160）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第11回	社会とはなにか？（第6章） - サルトル・マルクス -	事前学習	教科書（pp. 161～166）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第12回	社会とはなにか？（第6章） - 構造主義 -	事前学習	教科書（pp. 199～208）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第13回	社会とはなにか？（第6章） - ポスト構造主義 -	事前学習	教科書（pp. 208～213）を読み、分からない箇所をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第14回	これまでの議論を踏まえてレポート課題に取り組む	事前学習	これまで取り上げたテーマやディスカッションの内容を復習し、自らの意見を考えておく。
		事後学習	ディスカッションの中で明らかとなってきた自分自身の考え方・ものの見方について分析し、まとめる。
第15回	まとめ - これまでの議論を振り返って	事前学習	これまでの議論について振り返っておく。
		事後学習	この授業で学んだことを今後、受講する授業で活用する。